

平成27年度第3回  
大川水系外、伊里前川水系外、雄勝・牡鹿・女川圏域外及び坂元川水系  
河川整備学識者懇談会

# 第2回河川整備学識者懇談会で の意見に対する対応について

平成28年2月17日

宮城県土木部河川課



項目	意見	懇談会での回答
治水	優先する整備区間の話はスケジューリングの方針などが必要では。	方針みたいなものを示せないかということについては、持ち帰って検討したい。
治水	復興まちづくりとの連携だが、震災のレビューが重要。被害に対して市町村がどんな復興計画をつくっているのかが一番背景になる部分である。	レビューの中で震災の取り組み部分についても触れている。実際のまちづくりの計画が今どうなっているかというところは書き込めるようにしたい。
その他	まちづくりのマッピングを整備計画と重ねるような形で示すのが、一番レビューとしてはわかりやすい。	復興まちづくり事業カルテがあるので、位置的にどうなっているかというところを含めて示す。
治水	南北上運河についての整備計画は、全区間施設計画上の津波に対する築堤整備になっているが、どういう方針でその地域を守っていくのか。【定川】	本文の中にわかりやすい形で表現していく。
利水	大川水系河川整備計画の利水のところだけ維持流量が具体的な数字が出てきている。ここの流域はダムもないので、流量を確保すると言い切るのはなかなか難しいのでは。【大川】	大川は、データの見直しを行って設定する。伊里前川は払川ダムがあることから、前回同様正常流量を設定する。その他は、データの蓄積に努めながら、正常流量の検討をする。
その他	宮城県の河川全体の考え方を策定し、それを参照するような形で各圏域の整備計画の中で使うというような位置づけにしてはどうか。	内部で少し検討させていただいて、少なくとも懇談会の中ではどのように考えたかというところはお示ししたい。
治水	1,000年後に備えてハードで整備するというのはいかがか。やはり事業の正当性をちゃんと判断されて計画に書き込んでおくべきでは。【定川】	—

項目	意見	懇談会での回答
その他	概要版に水質の保全という項目が一部記載されているが、この辺の取り扱い方はどのようにしているのか。	水質の話に触れているところはデータがあるところである。
その他	10箇所の素案を整理するにあたって、前段で全体に共通する課題について整理をして、あとは各論で各河川の課題とか問題というふうに書いたほうがわかりやすいのではないか。	県の中で今回つくるにあたっての共通の課題というのもこの懇談会の中でお示できていない部分がある。次回提示したい。
環境	下水道処理率ではなく、汚水処理率を用いてはどうか。	遡れるデータの範囲を見ながら、数値を併記できるように工夫したい。
環境	森、川、海というものを一体として捉えるという、こういう視点が20年、30年後にはもっと強まってくるのではないか。	定量的にではなく、定性的に言葉で書いていけるよう検討したい。
環境	地元の市町と結びつけ、データを活用して川の水質をきちんと把握していく必要があるのではないか。	不足しているデータについては、整理したい。
環境	河川の環境のことを考えるのに、県の環境サイドともっともっと連携していくべきではないか。	—

項目	意見	懇談会での回答
その他	宮城県の河川の特徴がわかるようなものを入れていただきたい。日本の河川の特徴の中でも宮城県ではこういう特徴があるというような話があると一般の方もわかりやすいのか。	三陸水系では伏流して途中で水が見えなくなる区間があったりするので、そういった河川の特徴を本文の中に少し盛り込めるように工夫していきたい。
その他	自然の中のいろいろな現象とかを具体的な事例とかでわかりやすく追加してはどうか。	具体例をコラム的に入れていくこともできると思うので、見せ方、表現を工夫していきたい。
環境	それぞれの河川に特徴的なことがあるので、連続性と多様性というものを大事にしながら保全していただきたい。	連続性も多様性も大事な視点だと理解している。本文の中にも多様性について書き加えられるようにしていく。
環境	山の状態や農地の配置など、河川を取り巻く環境が川の管理に非常にかかわってくると思う。ほか圏域との連続性も大事にしながら整備・管理を考えていただきたい。	河川のみならず、場としてどうしていくかという部分について、しっかり本文に書いていけるようにしていく。

項目	意見	懇談会での回答
利水	地域の特徴とか実態を踏まえた上で利水者等との連携について表現を検討してほしい。	連携しないと検討できない部分がありますので、しっかりとやっていきたい。
利水	土地利用の調整で利水に関することを整備計画に記載すべきことはないか。	農業用の配水計画は沿岸市町を一通り調査している。新しい計画があれば反映し、調整した内容になっている。
利水	伊里前川は払川ダムがあるが、不特定利水の中にもともと慣行で持っていた農業取水が入っているのかどうか。入っているのであれば、ダムありで10分の1濁水が確保されているのかどうかを確認したい。 <b>【伊里前川】</b>	持ち帰って資料を見てからお答えしたい。
利水	河川というのは、文化、人の生活とか、自然、生態を育んできた地域の地域資源であり、社会的共通資本の一つでもある。地域の資源であるといった書きっぷりをつけ加えられてはどうかと思う。	人とふれあいの場の確保というような言い方をしているところがあるので、そういったところで地域の資源というような河川の位置づけというものを入れていきたい。

項目	意見	懇談会での回答
その他	全体を貫くような基本的な書き込みや個別の河川あるいは河川流域におけるの特色というようなものを計画の中に記載すべきでは。	今回の河川整備計画、その前段の基本方針、これを策定するにあたっての基本的な考え方はある程度各圏域一貫している。 沿岸域は河川の災害復旧事業をしっかりと計画の中に位置づける予定である。
その他	30年の整備といいながら、河口域が主になっていないか。フォローアップについてや上流までを含んだ流域として対応を記載すべきでは	整備していくことも河川を管理していく中の一環と考えている。 当面30年間の整備する内容を治水の一つの側面として考えているが、河川を適正に管理していく。
環境	環境をいかに守るのか、人とのふれあいというものをどういうふうにやっていくのか。	環境面では、災害復旧事業を実施するにあたって環境アドバイザー制度を活用していきたい。
その他	河川整備計画は、30年間固定化されるのか。	社会情勢の変化などに合わせて見直しが必要なものと考えている。
その他	市民の方、県民の方にもよく理解していただけるように少しビジュアルにデータも入れていただきたい。	見やすさについては、もう少し工夫する。

項目	意見	懇談会での回答
環境	<p>丘陵堤のような形の親しみのある高さを感じさせない見通しのよい景観が、人間が安心してそこに生活できる。</p>	<p>今回の災害復旧では、数十年から百数十年に1度起きる津波に対してしっかりと守っていくこととして、河川を遡上する津波を含めて、河川の堤防を整備していく考え。特殊な堤防という区間もあるが、基本的には緩い勾配での河川を考えている。</p> <p>景観面での配慮も河川の中では必要だと考えている。</p>
環境	<p>「繁殖環境の保全」と字幕で出されても、絵に描いてみないとどういう整備がされるのかという懸念もある。</p>	<p>魚道は新しく修繕とか新設するようなタイミングを見て設置していくということも検討していく。パースを入れて見せていく。</p>
環境	<p>山と川と海の豊穡の資源で我々は生き、栄えてきた。川の文化フォーラムのような催しを県内行って、川は我々が生きていくための基本の生活環境の場だということを前面に押し出していく必要がある。</p>	<p>住民意識を高めていく取り組み、どういうふうに高めていくかというところをもう少しわかりやすく記載する。</p>

項目	意見	懇談会での回答
その他	<p>堆積して浚渫が必要となる場所や、ダムによって土砂供給なく護岸の根足が洗われる場所などがでてくるが、整合をとった形で管理していかなければいけない。</p>	<p>適正な維持管理，機能保持といった部分で，しっかりとやっていくと本文のほうには記載していく。</p>
治水	<p>津波で消滅した地区について何を守るための施設かという話もある。背後地の整備やまちづくり計画から想定される土地利用を踏まえて，何を守っていくのかということを検討していただきたい。【伊里前川，志津川】</p>	<p>背後地のまちづくりはそろそろ固まってきたので，市町さんの復興計画をしっかりと見ながら，整備する区間の記載をしていく。</p>
環境	<p>地域住民との協議が必要になってくる。協議する前の段階で周知していく，共通理解を図るという上では，何パターンかのイメージ図があれば理解が早いのでは</p>	<p>共通理解，住民への周知といった面も含めてイメージ図を検討したい。</p>
その他	<p>住民参加による河川清掃や河川愛護は，高齢化と住民減少によってかつてのようにはいかないような状況が出てくるだろう。何か新たな考え方というのが必要では。【伊里前川，志津川】</p>	<p>河川管理の中で堤防除草をお手伝いいただいているが，高齢化については課題となっており，整理していきたい。</p>



項目	意見	懇談会での回答
治水	10年に1度程度の降雨という表現を工夫できないか	表現を工夫する。
環境	「環境学習, レクリエーションの場の利活用」となっているが, 「レクリエーションの場としての利活用」ではないか。 【雄勝・牡鹿・女川圏域概要版】	レクリエーションの誤表記については表現を修正する。
治水	治水目標のところ2番目の「住民の生命を守ることを最優先とし」という言葉は, 全体にかかる言葉ではないか。	表現を工夫する。
その他	防災情報の提供でソフト対策の推進とあるが, 具体的にどういった対策なのか, どの程度推進されるのか。計画の中で先進的な部分でITを活用したソフト対策が盛り込まれるといいのでは。	雨量, 水位のデータを収集し, ホームページ等の媒体を使って提供していく。各種情報を避難に結びつけるため市町村と連携を進める。
その他	計画の中に30年のスケジュール的なものが項目にないが, より詳細なスケジュールのようなものが示されるのか	計画の進め方は, 計画本文の中で触れていけるようにする。
その他	スマートホンのアプリやメール配信システムを整備するところがかかなり効果が高いと思う。実施段階で何らか対策として考えてほしい。	—

項目	意見	懇談会での回答
治水	内水排除については復興まちづくりとあわせて町や関係機関と調整を進めるとあるが、具体的には何か。【坂元】	町と内水計画の計画面で調整を進めることである。
環境	環境の変化については、モニタリングしながら各分野の専門家、学識者より助言、指導をいただきながら動植物の生息・生育・繁殖環境の保全を図るとあるが、具体的には何か。【坂元】	モニタリングは環境調査のことを想定している。フォローアップの意味で必要に応じて環境調査を実施していきたい。 助言、指導は、環境アドバイザー制度を想定している。
環境	整備を想定している区間については、現在ほとんど全ての樹木はなくなっていると思うが、どのように保全するのか。【坂元】	河川整備計画で対象としているのは、管理区間全体となる。外来樹を植えて環境を破壊することにならないようにという意図があり、在来と記載している。
治水	内水氾濫を軽減するため、雨水排水の受け入れを考慮した河道断面で整備することとあるが、どの区間を想定しているのか。【坂元】	町で考えている雨水排水をどのように河川で受けていけるかというところを課題として考えて、どう対応していくかを記載している。
治水	日幸電機の東側の水路が記載されていないのは何故か。【坂元】	流量配分図に書いているのは河川であり、水路は、反映されない。



**復興加速実感年**  
創造的復興へ  
ステップ・アップ!



宮城県公式キャラクター「むすび丸」

宮城県土木部

新生宮城の発展に向けて

**復興加速  
復興実感**



宮城県土木部

がんばるっちゃ!

**復興へ  
頑張ろう!  
みやぎ**



むすび丸